

平成22年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

（1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

（2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

（3）調査の要領

ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

イ 調査の期間

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで1年間

ウ 調査事項

（ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊び、修学旅行など。）。

（イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

（ウ）利用交通機関別の入込客数

（エ）消費金額

（4）調査結果

ア 観光客入込の動向

平成22年1月1日から平成22年12月31日までの入込客数は、1億1,433万人と推計され、前年の1億1,420万人と比べて、13万人増加し、率では0.1%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より15万人増加し、14年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、27万人増加した。3位の遊園地客は前年より3万人増加し、順位は4位から3位となった。なお、前年と比較すると、ハイキング及び登山客、その他は増加となったが、花見客及び紅葉狩り客、釣り客、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、産業観光客は減少となった。

イ 県内・県外別の状況

県内客 4,988 万人（構成比 43.7%）、県外客 1,630 万人（構成比 14.2%）、不明 4,815 万人（構成比 42.1%）であった。

ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 6,435 万人（構成比 56.3%）、宿泊客 183 万人（構成比 1.6%）、不明 4,815 万人（構成比 42.1%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 4,128 万人、次いで鉄道 1,134 万人、その他 838 万人、バス 498 万人の順（不明 4,835 万人を除く。）であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2,878 万人（構成比 25.2%）、スポーツ客 2,404 万人（構成比 21.0%）、遊園地客 1,484 万人（構成比 13.0%）、産業観光客 1,472 万人（構成比 12.9%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 993 万人（構成比 8.7%）、花見客及び紅葉狩り客 690 万人（構成比 6.0%）、ハイキング及び登山客 305 人（構成比 2.7%）、釣り客 85 人（構成比 0.7%）、その他 1,122 万人（構成比 9.8%）となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1,024 億円（54 市町村）である。1 人当たりの消費金額は 1,373 円で、前年に比べ 8 円、0.6%の減となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8 月、7 月、10 月、1 月の順に多い。また、消費金額については 10 月、5 月、1 月、8 月の順に多い。